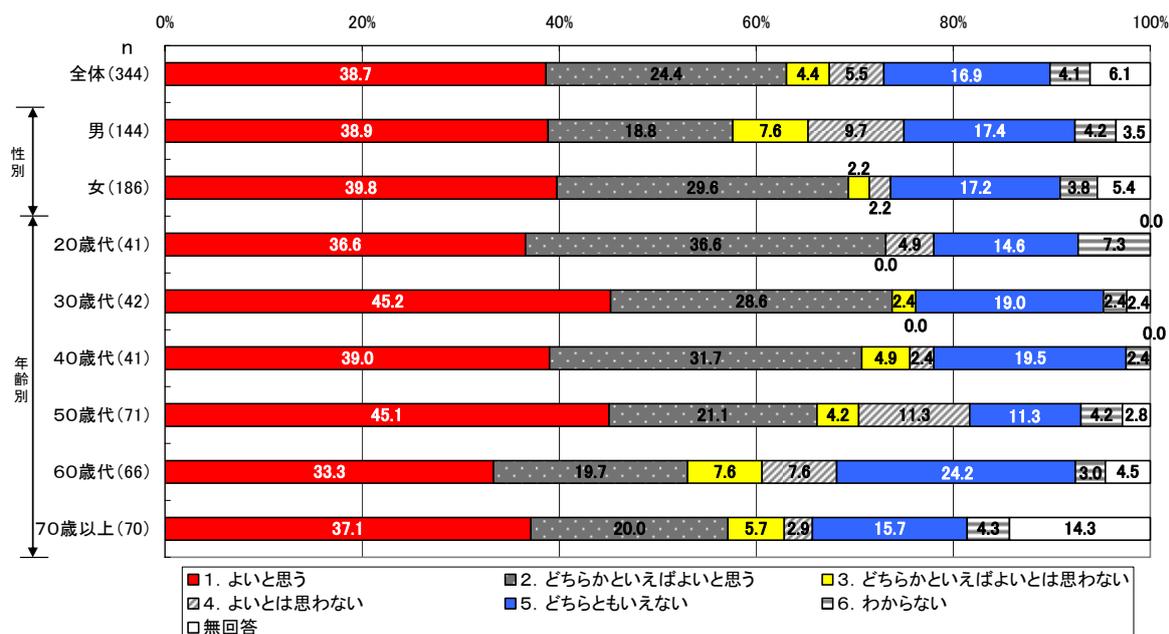


5 女性の社会への参画について

5-1 指導的地位に占める女性の割合

問 13. あなたは、今後、もっとさまざまな職業分野で指導的地位に占める女性の割合が増えるほうがよいと思いますか。(〇は1つ)



【全体】

「よいと思う」(38.7%)、「どちらかといえばよいと思う」(24.4%)を合わせると63.1%と6割以上の方がさまざまな職業分野で指導的地位に占める女性の割合が増えるほうがよいと回答しています。

一方、「よいとは思わない」(5.5%)、「どちらかといえばよいとは思わない」(4.4%)を合わせると9.9%と1割の方がよいとは思わないと回答しています。

なお、「どちらともいえない」は16.9%となっています。

【性別】

男女とも、「よいと思う」(男性38.9%、女性39.8%)が最も多く、次いで「どちらかといえばよいと思う」(男性18.8%、女性29.6%)、「どちらともいえない」(男性17.4%、女性17.2%)の順に多くなっています。

なお、「よいと思う」「どちらかといえばよいと思う」と回答した方は、男性(38.9%、18.8%)より女性(39.8%、29.6%)のほうが多くなっているのに対し、「よいとは思

ない」「どちらかといえばよいとは思わない」と回答した方は、女性（2.2%、2.2%）より男性（9.7%、7.6%）のほうが多くなっています。

【年齢別】

「よいとは思わない」「どちらかといえばよいとは思わない」を合わせると、50歳代が15.5%と最も多く、次いで60歳代が15.2%となっています。一方、30歳代が2.4%と最も少なく、次いで20歳代が4.9%となっています。

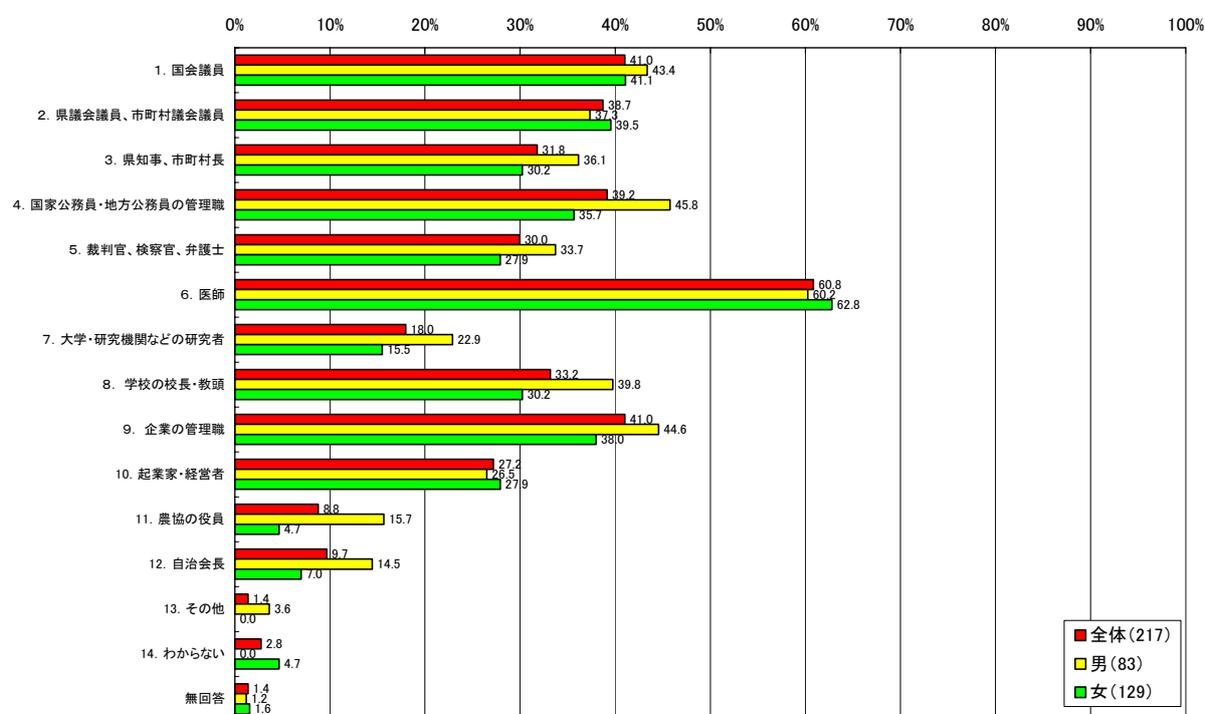
したがって、年齢層が高い世代のほうが、さまざまな職業分野で指導的地位に占める女性の割合が増えるほうがよいと思わない方が多くなっている傾向にあります。

5-2 女性の割合が増えるほうがよいと思う職業

問13-1. 問13で「1」または「2」に○をご記入した方のみお答えください。次の職業や役職において、今後、女性の割合がもっと増えるほうがよいと思うのはどれですか。(○はいくつでも)

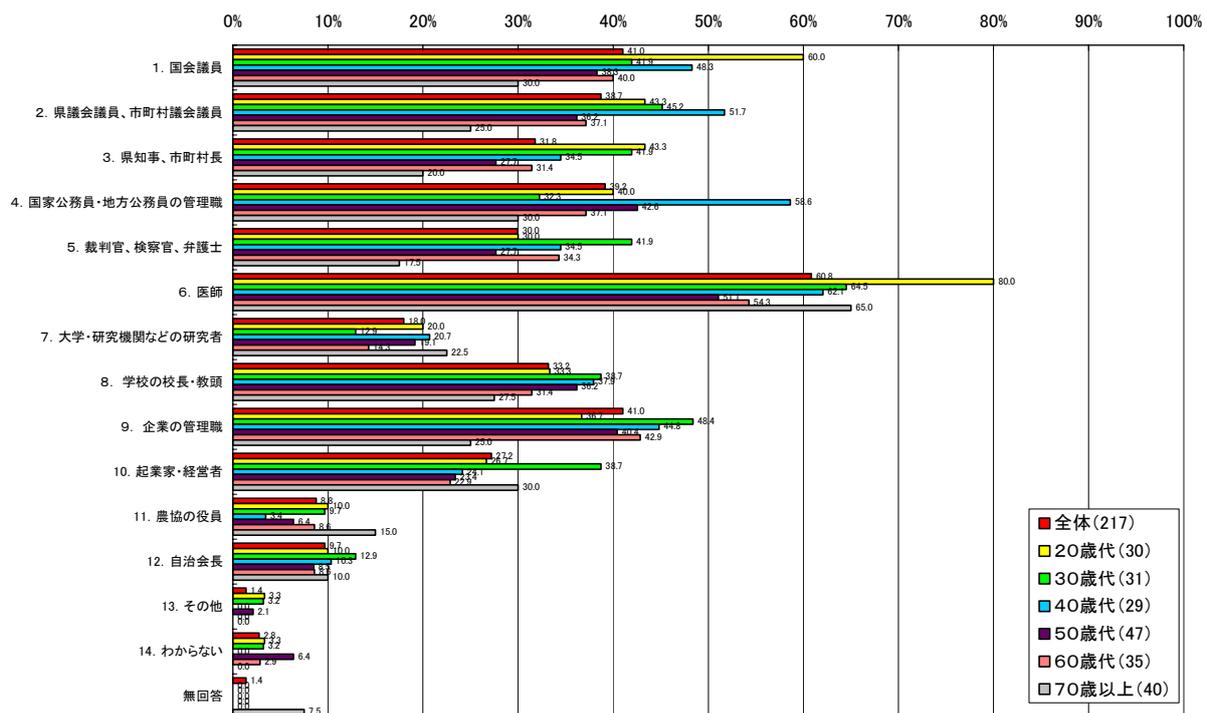
【全体】

「医師」が60.8%と6割を占め最も多く、次いで「国会議員」(41.0%)、「企業の管理職」(同)、「国家公務員・地方公務員の管理職」(39.2%)、「県議会議員、市町村議会議員」(38.7%)の順で多くなっています。



【性別】

男女とも「医師」と回答した方(男性60.2%、女性62.8%)が最も多くなっています。なお、「農協の役員」(男性15.7%、女性4.7%)、「国家公務員・地方公務員の管理職」(男性45.8%、女性35.7%)、「学校の校長・教頭」(男性39.8%、女性30.2%)は男性と女性のポイント差が大きくなっています。



【年齢別】

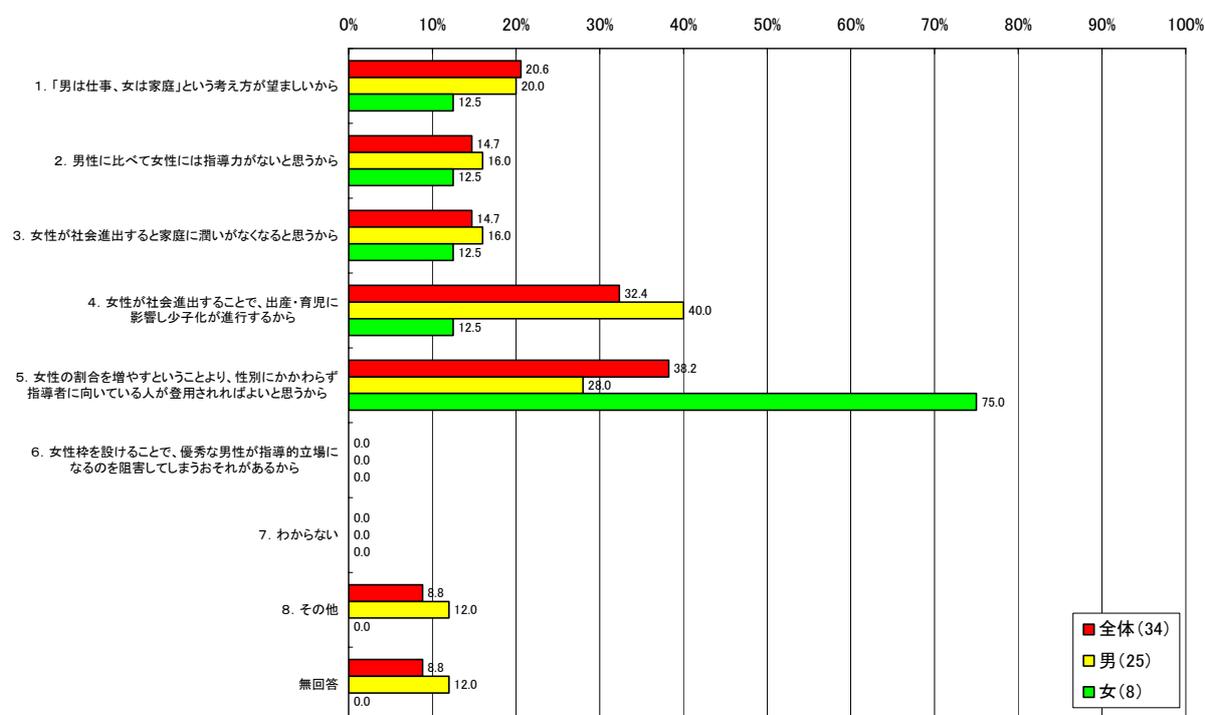
すべての年齢層において「医師」が最も多くなっています。「医師」と回答した方は20歳代が80.0%と8割を占め最も多く、次いで70歳以上が65.0%、30歳代が64.5%と多くなっています。一方、50歳代が51.1%と最も少なく、次いで60歳代が54.3%と少なくなっていることから、若い世代と70歳以上の年齢層において、医師における女性の割合が増えることを望む方が多くなっている傾向にあります。

5-3 指導的地位に占める女性の割合が増えるほうがよいと思わない理由

問13-2. 問13で「3」または「4」に○をご記入した方のみお答えください。指導的地位に占める女性の割合が増えるほうがよいと思わない理由は何ですか。(○は2つまで)

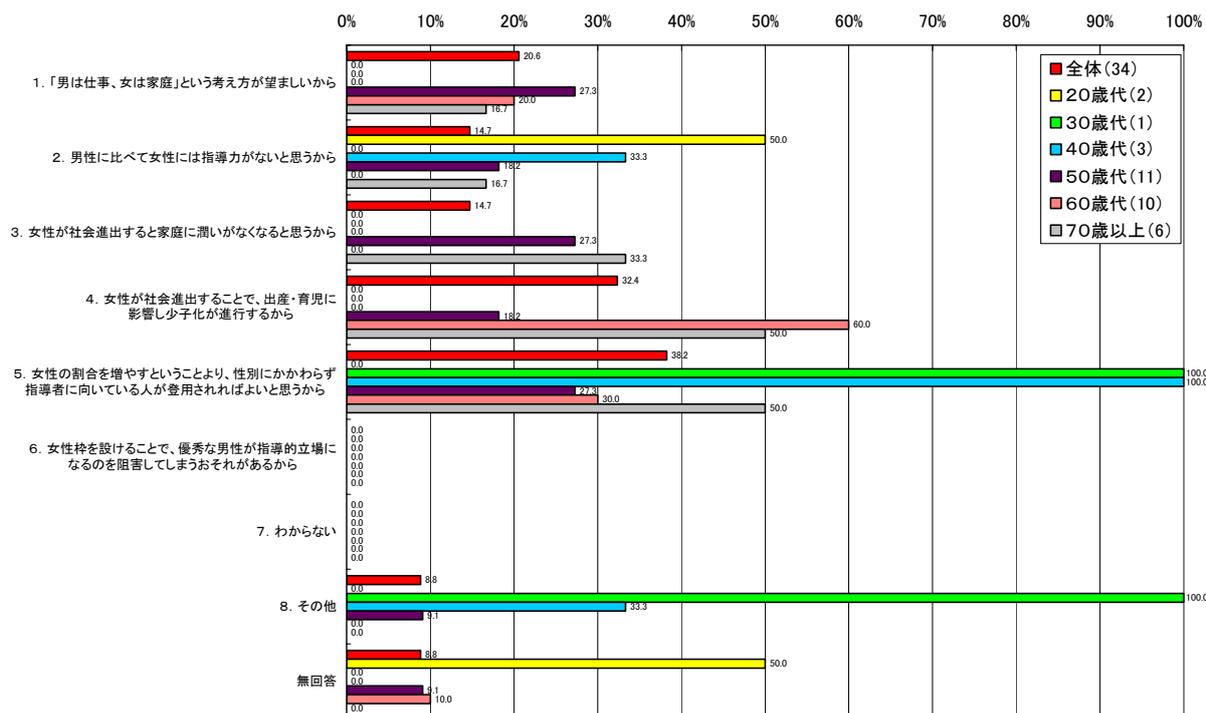
【全体】

「女性の割合を増やすということより、性別にかかわらず指導者に向いている人が登用されればよいと思うから」(38.2%)という理由が最も多く、次いで「女性が社会進出することで、出産・育児に影響し少子化が進行するから」(32.4%)という理由が多くなっています。



【性別】

男性は「女性が社会進出することで、出産・育児に影響し少子化が進行するから」(40.0%)という理由が最も多くなっていますが、女性は「女性の割合を増やすということより、性別にかかわらず指導者に向いている人が登用されればよいと思うから」(75.0%)という理由が最も多くなっています。なお、男性の回答で最も多かった「女性が社会進出することで、出産・育児に影響し少子化が進行するから」という理由について、女性は12.5%と少数となっています。



【年齢別】

「女性が社会進出することで、出産・育児に影響し少子化が進行するから」という回答理由を見ると、60歳代が60.0%と6割を占め最も多く、70歳代が50.0%、50歳代が27.3%となっていますが、20歳代～40歳代はいずれも0.0%となっています。したがって、年齢層が高い世代においては、女性が社会進出することで出産・育児に影響し少子化が進行することを憂えていることがうかがわれます。